

宮崎日日新聞「くらしの相談」掲載記事

○危険な点字ブロックの補修

【相談】

私は、近くの国道と県道が交差する交差点を歩いていたところ、歩道に設置している視覚障害者用の点字ブロックが破損し、1枚のブロックがめくれ上がっていることに気づきました。そのため、視覚障害者の方が通行した場合、めくれ上がったブロックに引っかかって転倒する危険性があるので、至急点字ブロックを補修してほしい。

【結果】

相談を受けた行政相談委員が現地を確認したところ、申出のとおり、1枚の点字ブロックがめくれ上がり、歩道面から3センチメートル程度の段差が生じているほか、ブロックの数箇所にも亀裂があり、ところどころでブロックが浮いていることを確認しました。

委員は、このままでは視覚障害者は安心して歩けず危険であると判断して、当該国道を管理している県土木事務所に相談内容を連絡し、早急に補修するように依頼したところ、県土木事務所からも早急に対処する旨の回答を得ました。

後日、委員が再度現地を確認したところ、点字ブロックの補修が完了し、視覚障害者が安心して通行できることが分かりました。

【改善前写真】平成22年5月17日



点字ブロックが破損してめくれ上がっている。



点字ブロックがところどころでひび割れている。

【改善後写真】平成 22 年 5 月 27 日



破損箇所は修復されている。